

定期総会・理事会議事要旨

【2021年度定期総会 議事要旨】

日 時：2021年6月

実施方法：新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より書面表決にて開催

書面表決結果： 総数 92 通 回答数 55 通

議事

I. 報告事項

1. 会員状況（2021.3.30付）

個人会員：38名

団体会員 A（職能団体）：11 団体（4 団体入会手続き中）

団体会員 B（施設団体）：43 施設

2. 2021年度事業計画

① 理事会（2回）

第59回理事会 開催日：令和3年5月17日

第60回理事会 開催日：令和4年2月

② 事務局会（2回）

第1回事務局会 開催日：令和3年4月～5月（メール開催）

第2回事務局会 開催日：令和3年12月

③ 定期総会 開催日：令和3年6月

④ 研修会 開催日：適時

⑤ 第24回茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会

3. 2021年度学術集会

○日 時：2021年12月11日（土）

○会 場：開催方法によって検討

○テーマ：これからの茨城県地域包括ケアシステムを担っていくために
～医療・介護・福祉を支える人材育成～

4. 茨城県総合リハビリテーションケア学会誌の電子化等について

「電子化」「他（多）職種・分野」「投稿しやすい」を3本柱として、アカデミックな色合いが強いものではなく、多職種が投稿しやすいような「テーマ」を設定するなどし、会員が積極的に業績を残すことを促進する、またこれからの時代に合わせ、電子化に向けた検討を進める。

⇒報告事項1, 2, 3, 4 意見なし 55 通

II. 承認事項

1. 2020年度事業報告

- ① 理事会（2回）
第57回理事会
開催日：令和2年6月（書面表決）
第58回理事会
開催日：令和2年10月（書面表決）
- ② 事務局会（2回）
第1回事務局会
開催日：令和2年5月13日（水）
会 場：茨城県保健衛生会館なごみスペース 出席：6名
第2回事務局会
開催日：令和2年10月2日（金）
会 場：茨城県保健衛生会館なごみスペース 出席：8名
- ③ 定期総会
開催日：令和2年12月（書面表決）
- ④ 研修会
開催日：令和3年1月10日（日）（オンライン開催） 10:00～11:00
テーマ：地域包括ケアで求められる国際生活機能分類（ICF）の概念
～多職種連携での活用を目指して～
講 師：浅川 育世 氏（茨城県立医療大学理学療法学科 教授）
参加者：30名（個人会員6名、団体会員16名、非会員8名）
- ⑤ 名義後援
名 称：茨城県作業療法士会 市民公開講座（web開催）
開催日：令和2年11月15日（日）

⇒書面表決書の未提出については全議案「賛成」として集計するため、賛成92 反対0で承認

2. 2020年度決算報告および監査報告

収入1,774,394円（内、次年度繰越金941,382円）、支出1,774,394円

⇒書面表決書の未提出については全議案「賛成」として集計するため、賛成92 反対0で承認

【第59回理事会 議事要旨】

日時：令和3年5月17日（月）19：00～20：10

場所：茨城県保健衛生会館4階 大研修室

参加者：諸岡信裕、白川洋子、森永和男、福田潤、森久紀、入江三弥子、草野義尊、種村閑（代理）
（事務局）齊藤秀之、佐藤弘行、宇都木淳弘、佐藤誠、飯島弥生、太田幸人、下村哲志

書記：下村哲志（事務局）

（敬称略・順不同）

1. 報告事項

(1) 会員状況（資料1）

- ・会員数（2021.3.31現在）
個人会員 38名
団体会員 A（職能団体）：11団体
団体会員 B（施設団体）：43施設

(2) 2020年度事業報告

- ・理事会：2回（6月、10月に書面表決）
- ・事務局会：2回（5月、10月）
- ・定期総会：12月に書面表決
- ・学術集会：新型コロナウイルスの拡大により次年度へ延期
- ・研修会：2021年1月10日（日）にオンラインで開催
- ・名義後援：茨城県作業療法士会市民公開講座（Web開催）2020年11月15日（日）

2. 審議事項

(1) 茨城県総合リハビリテーションケア学会誌の電子化について

本学会の学術誌の方向性として

- ・電子化
- ・他（多）職種・分野
- ・投稿しやすい

を3本柱としてアカデミックな色合いを強いものでなく、多職種が投稿しやすい形のものに整備していく方向で検討しているのかを諮った

⇒費用対効果としても良いと思われ、時代の流れとしても電子化が望ましい、多職種が投稿しやすいように「テーマ」を決めて投稿を促す等の意見を踏まえて電子化に向けた検討を進めることになった。

3. 承認事項

(1) 2020年度決算（案）および会計監査について

収入 1,751,382 円、支出 1,751,382 円（内次年度繰越金 1,445,382 円）

⇒承認

(2) 2021年度事業計画及び予算（案）について

- ・事業計画（案）

（ア）理事会（2回）

第59回理事会

開催日：令和3年5月17日

第60回理事会

開催日：令和4年2月

(イ) 事務局会 (2回)

第1回事務局会 開催日：令和3年4月～5月 (メール開催)

第2回事務局会 開催日：令和3年12月

(ウ) 定期総会 開催日：令和3年6月

(エ) 研修会 開催日：適時

(オ) 第24回茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会 令和3年12月

⇒承認

・予算 (案)

収入 2,831,373 円、支出 2,831,373 円

⇒承認

(3) 第24回茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会について

茨城県言語聴覚士会に幹事団体を依頼、12月11日で合意した

テーマ：「これからの茨城県地域包括ケアシステムを担っていくために

～医療・介護・福祉を支える人材育成～」とし、

開催方法については新型コロナウイルス感染症の蔓延状況に応じて検討していく。

[質問、検討事項]

・聴覚障害者が参加しやすいように手話通訳を積極的に導入してはどうか

→導入する方法で関係団体に相談する。

・「多職種連携」「リハビリ」「ケア」等同じような言葉・内容の会議・団体が増えているため、この学会の意義を明確にして開催することが望まれる。

→リハビリテーションの概念はどの職種にも共通するもの。本学会の会則第2章第3条の目的に沿った形で開催していくことを確認。

・一般の方への案内が少なかったので広報をしてはどうか。

→まずは障害者団体、関連団体、患者会への案内を強化していく。

・報道機関への案内 (取材) をする。

・オンラインとなる場合、情報セキュリティの問題も考慮していく必要性あり。